

じんクリニック通信

第16号 2017/8/29

透析患者さんの痛みの治療方法について

多くの透析患者さんが様々な原因で
慢性的な痛みを抱えています。

痛みの種類としては以下のようなものがあります。

頭痛

骨折後の痛み

腰・膝・首・肩の関節の痛み

帯状疱疹後の神経痛

脊柱管狭窄症による神経圧迫の痛み

筋肉の攣りによるもの

シャントの穿刺部痛・血管痛

等

痛みは最もつらい症状の一つです。出来る限り痛みを無くして快適な生活を送って頂きたいと考えていますが完全に痛みを無くすことが出来ない場合もあります。

裏面へ

痛みに対するお薬としては以下のものがあります。

- 一般的な鎮痛薬：
 - ・ カロナール、ロキソプロフェン、ボルタレン座薬など
- やや強い鎮痛薬（吐き気や便秘になることがあります）：
 - ・ ترامール、トラムセット
- 持続性のある鎮痛薬：
 - ・ ノルスパンテープ（1週間に1回貼り替えます。）
- 神経痛によく使う薬
 - ・ リリカ（足のイライラ感にも効きます。）
- 湿布薬：
 - ・ パテルテープ（日光に当てると皮膚がかぶれることがあるので注意が必要です）
 - ・ ロキソニンテープ（ひんやりするタイプです）
- 塗り薬：
 - ・ セクターローション、ボルタレンゲル（痛み止め成分が皮膚から浸透します）

*首や肩の筋肉の痛みにはマッサージなどコリをほぐすと良くなります。

*シャントの穿刺部には局所麻酔薬のテープやスプレーを使います。

*シャントの血管痛（穿刺部以外）は痛み止めが効かないことがほとんどです。

痛みがひどい場合にはペインクリニック

（痛みの専門科）にご紹介することもあります。

わからないことがあればスタッフにご相談下さい。